

特集

岐路に立つ水道事業 100超の市が広域化を実現・検討

6

2 村木厚子の直言

4 ニュース & インサイド

神奈川県茅ヶ崎市が2自治会を提訴

5 霞が関 底流伏流 (総務省)

地方行政のデジタル化を推進

22 グローカルインタビュー

鳥取県知事 平井 伸治氏

25 これがBiz流地方創生だ

最上級品で差別化、販路も開拓

26 フォーカス

地方創生、第2期総合戦略に着手

30 地方創生の旗手

いわきバッテリーバレー推進機構 庄司 秀樹氏

32 現場から見た地方行財政 林 誠氏

時代に取り残される自治体の採用活動

34 地方移住の現実と課題 清泉 亮氏

集団移住にみる成功の秘訣

36 持続可能な未来へ 藤山 浩氏

循環自治体の経済学

38 自治体防災の要諦 河田 恵昭氏

2018年台風21号の教訓

40 地方議会のミライ 牧瀬 稔氏

議会報告会は目的ではなく手段

42 官民協働の公共改革 奥村 裕一氏

滋賀県職員の勉強会にみる新しい政策形成

44 大学の明日を考える 小川 洋氏

大学無償化の問題点

46 Interview 首長

北海道大樹町長 酒森 正人氏

47 ニュース・ウォッチング

54 Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉 渇水に備えて新たなダム建設 (香川県)

香川県と県水道企業団が2020年9月の完成を目指し、建設を進める梶川ダム。国費と合わせて約440億円を投じる。重機が作業するダムの向かい側には住宅や観光施設も見える。

ダムは1991年の予備調査から30年近くにわたった大事業だ。同県は降雨量が少なく、過去に何度も深刻な水不足に襲われた。今年も節水の呼びかけが始まっている (写真上)。

多目的ダムで水道水としては高松市の1日の配水量の6%が確保できる程度だが「渇水対策のバッファーになる」(企業団)と期待は大きい。(文=近藤 英次、写真=香川県提供)